

津市 安濃・芸濃・美里地域 中学校合同部活動の提案

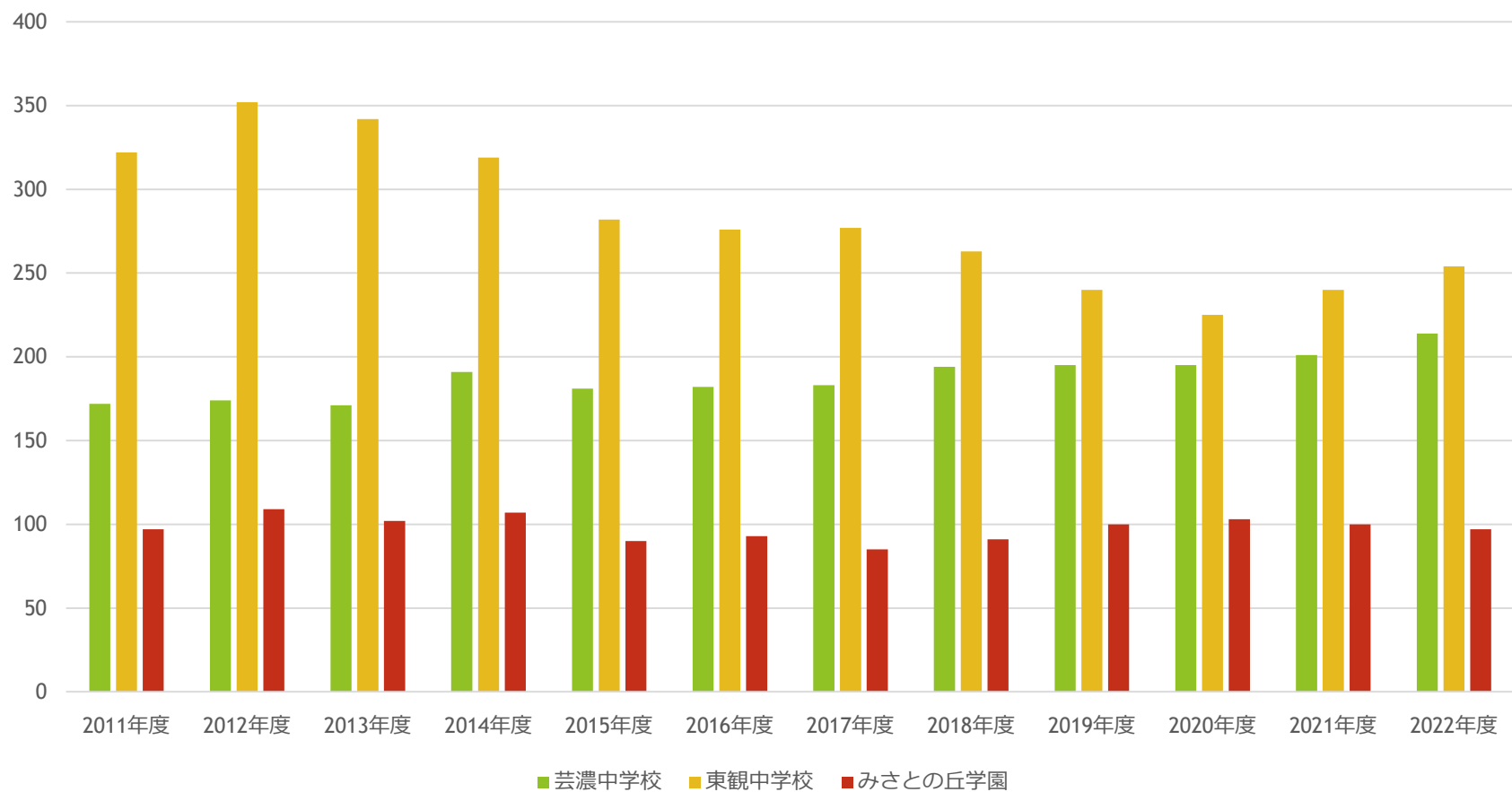
特定非営利活動法人 あのうちスポーツクラブ
(総合型地域スポーツクラブ)

理事長 井本 孝充

安濃・芸濃・美里地域の現状と課題

- ▶ 地域では少子化が進んでいる。美里地区・芸濃地区ではすでに小学校の統廃合がなされており、安濃地区でも、草生幼稚園が廃園になっている。
- ▶ 地域のスポーツ少年団も減少しており、子どもたちがスポーツに触れる機会が失われつつある。
- ▶ 芸濃中学校は7種目、みさとの丘学園は5種目の部活動を有するが、選択肢が少なく生徒のニーズに応えられていない。小規模校で種目数を増やすのは困難である。
- ▶ 東観中学校には11種目の部活動があるが、生徒数の減少が続き現在の種目数を維持するのが難しい状況になっている。
- ▶ 公共交通機関が極めて貧弱な地域であり、生徒・児童の移動には保護者の送迎が必須になるため、子育ての大きな負担となっている。

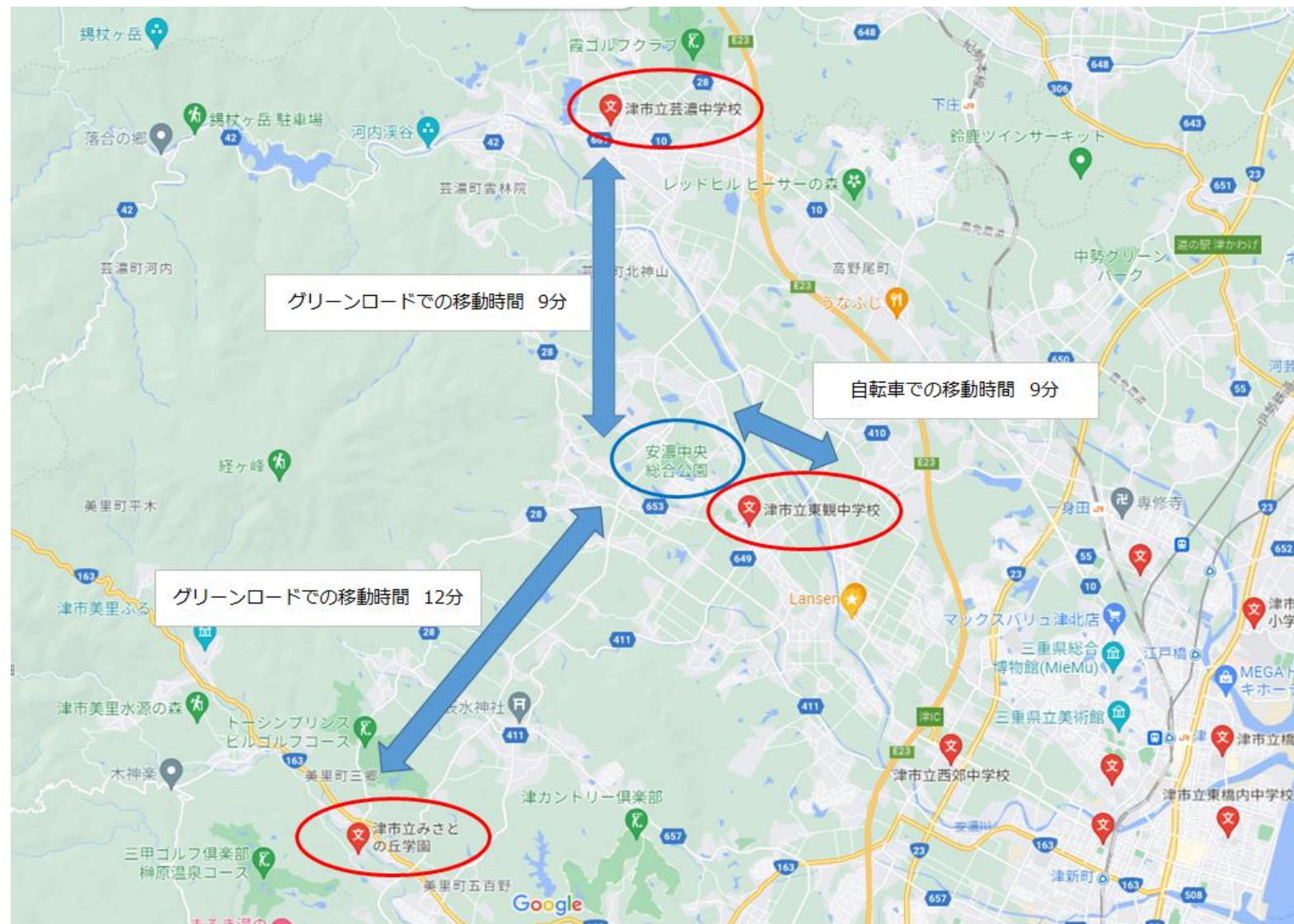
2011年からの各校生徒数の推移



地域の強みを活かす！

- ▶ 3校の中間地点には**津市安濃地域運動施設**があり、体育館・多目的グラウンド・野球場・テニスコートなどが整備されている。また、平日日中の利用者は少なく、施設も空いていることが多い。
- ▶ 東観中学校サッカー部では、従前から総合型地域スポーツクラブと連携している。また、地域のサッカー少年団には東観中学校校区外に在住している小学生も在籍しており、合同部活動としての**地域移行への土壌は整っている**。
- ▶ 中学生が芸濃中学校・みさとの丘学園から自力移動するのは困難だが、**グリーンロードが整備**されており、乗用車なら15分かからずに移動可能。
- ▶ **安全な移動手段を確保できれば、平日放課後も合同部活動が可能！**

グリーンロードをバスで結ぶ合同部活動



プロジェクトの目標

- ▶ 助成金を活用してバスを手配。実施可能な種目で、バス移動を活用した合同部活動の実証実験を行う。
- ▶ プロジェクトについて周知を図り、生徒・保護者のニーズを把握する。
- ▶ 指導者など、プロジェクトに関わる人員を増やしていく。
- ▶ **中学生の健全育成のために部活動は必要**なものだとの認識を、行政や教育委員会・地域団体等と共有する。
- ▶ **現行のスクールバス・コミュニティバスの運用を拡大**することで、**生徒が希望する種目を選択できる部活動**の地域移行をを実現する。
- ▶ **経が峰を囲み、グリーンロードでつながる東観中学校・芸濃中学校・みさとの丘学園の生徒が部活動を共有し、「経が峰クラブ（仮称）」として各種大会へ参加することを目指す。**
- ▶ **12種目、平日3～4回・週末1回の部活動実施を目標とする。**